

道徳学習指導案

令和3年11月19日(金) 第5校時 2年2組(2年2組教室) 指導者:

1 主題名・資料名

- 主題名 仲よく助け合って(内容項目: B 10 友情, 信頼)
- 人権教育 重要課題(2) 子どもたち
- 資料名 「およげないりすさん」(日本文教出版)

2 考察

(1) 価値観

本主題は、第1学年及び第2学年の内容項目(B友情, 信頼)「友達と仲よくし, 助け合うこと。」に基づくものである。この内容は、友達関係における基本とすべきことであり、友達と一緒に仲よく活動することのよさや楽しさに気付き、友達と助け合おうとする児童を育てることをねらいとしている。これは、第3学年及び第4学年の「友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと。」第5学年及び第6学年の「友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと。」へと繋がっていく。

児童にとって、友達は家族以外で特に深い関わりをもつ存在である。友達関係は共に学んだり遊んだりすることを通して、互いに影響し合って構築されるものである。友達とよりよい人間関係を築いていくためには、互いを認め合い、理解し合い、協力し助け合うことが大切である。しかしこの時期の児童は、自己中心性から十分に脱していないため、友達の立場を理解したり自分と異なる考えを受け入れたりすることが難しいときもある。自分本位な言動によって知らず知らずのうちに友達を傷つけてしまうこともある。

そこで、自分のことばかりでなく、相手の気持ちになって考え、仲よく助け合っていこうとする心情を育てていく必要がある。

(2) 児童の実態 (省略)

(3) 資料観

本資料は、あひる・かめ・白鳥が、池の中の島へ行って遊ぶ相談をしていた際に、「一緒に連れて行って」と言うりすに、「泳げないからだめ」と断ってしまう場面から始まる。その後、りすがいないまま遊んでいても楽しくなかった3匹は、次の日、りすに昨日の事を謝り、かめの背中に乗せて島へ行くという内容である。友達に悲しい思いをさせて自分たちだけで遊んでも楽しくないことから、どうすれば楽しく遊べるかを考える動物達の姿を通して、相手の気持ちを考え、友達と仲よくし助け合うことの大切さについて考えることができる教材である。

本資料のような場面は、子ども達の日常生活でも起こりうることであり、ひとりぼっちになった側と、仲間外れのようなことを言ってしまった側の双方の気持ちを考えることができる。また、次の日に4匹で島へ向かう場面でも、双方のうれしい気持ちを自分たちの友達関係とも重ね合わせ、友達と仲よく助け合うことのよさを実感できる。そこで、本資料を活用して自分自身の今までの言動や友達との関わりについて振り返ることにより、友達と仲よくし、助け合おうとする心情や実践意欲を高めることができると考える。指導にあたっては、次のような流れでねらいとする価値に迫っていく。

- ・「りすさんは、およげないからだめ。」と言った場面では、そのように言った理由や一人ぼっちになったりすの気持ちについて考えさせることで、あひる、かめ、白鳥たちの自分本位な言動が、悪気はなくても相手を傷つけている場合があることに気付かせ、人間理解を深める。
- ・島で遊んでいる場面では、「なぜ楽しくないのか」と、問うことで、りすを仲間外れのような形にしてしまったことを後悔しているかめたちの気持ちに気付かせる。このようなことは、日常生活でも起こりうることで、かめ達に共感しながら自分自身との関わりでも考えさせる。
- ・みんなで一緒に島へ向かう場面では、役割演技を行い、みんなで遊ぶ楽しさや助け合うことの大切さについて、実感を伴って考えさせ、道徳的価値についての理解を深める。また、かめたちそれぞれの言葉の根底には、相手のことを考え大切にしている気持ちがあることにも気付かせ、これからの生き方につなげていく。

3 人権教育とのかかわり

インターネットの普及により、最近の子どもの「いじめ」の手口が巧妙で執拗なケースが増えてきている。これらの原因として、他人に対する思いやりやいたわり等の相手の立場に立って考える力が不足していると考えられる。また、コロナ禍での制限された生活によってストレスを抱えこんだり、子ども同士の関係が希薄になったりしていることも、その一因と考えられる。このような背景のもと、道徳の学習において、友達関係について考える内容を扱う事が大切である。低学年の段階では、「友達の気持ち」や、「仲よく助け合う気持ち」を繰り返し考えさせ、よりよい友達関係を築いていくことの大切さに気付かせたい。

そこで、本資料の、自分たちの気持ちを優先させていた動物たちが、相手の事を考えて行動するという場面を通して、友達と仲よく過ごす事の楽しさや、助け合うことの大切さを実感できるようにする。さらに、子どもたちが今後の学校生活の中で、相手の気持ちを考えて接し、友達を大切にできるような道徳的実践力を育成していく。

【育てたい能力・態度】

- 感性：友達と仲よくすることや、友達を大切にすることのすばらしさに気付く。
- 知性：友達の立場に立って考えることの大切さを理解する。
- 技能：仲直りをする時、相手に素直に謝ることができる。
- 実践力：日常の集団生活において、友達と仲よく助け合っていこうとする意欲を持つ。

4 本時の展開

(1) ねらい

りすを背中に乗せて島へ向かう動物たちの気持ちを考えることを通して、友達の気持ちを考え、仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。

(2) 準備

大型モニター、教科書、ワークシート、掲示用場面絵、登場人物のパネル（役割演技用）

(3) 人権教育の視点

- 感性：島に向かうみんなの気持ちを考え、友達を大切にする意味に気付く。
- 技能：それぞれの立場で役割演技をし、友達と仲よく助け合っていく場面の体験をする。

(4) 展開

学習活動 ・予想される児童生徒の反応	時間	○指導上の留意点及び支援 ●ICT活用の視点 ◇評価 【人権教育で育てたい能力・態度】
<p>1 アンケートの結果から、問題意識をもつ。 「友だちと、どんなあそびをしているか」の結果を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>みんなは、友達と仲よくあそんでいるとき、どんな気持ち？</p> </div> <p>・楽しい ・うれしい ・もっと遊びたい 「友だちとあそんでいてこまったこと」がある児童がいることを知る。 ・かってにルールをかえる。 ・ボールをもってたらむりやりとられた。 ・何も言わないでぬけちゃった。 ・つかまえたのににげられた ・自分ばかりねらわれる。 ・「ちがうあそびをしよう」って言っても聞いてくれない。</p>	5	<p>●友だちとの関わりについてのアンケート結果を、大型モニターに映し、クラスの実態を確認する。</p> <p>○一人ぼっちの子はいないことや、みんな仲良く遊んでいることを確認させる。 ○友達と遊んでいる時の、前向きな気持ちを思い出させるようにする。</p> <p>○交友関係は良好であるが、「困ったこと」の事例があることに気付かせる。</p> <p>○アンケート結果を見て感じたことを発表させ、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る。 ○いやな思いをさせたりさせられたりした自覚がなくても、困っている人がいることに気付かせる。</p>
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>【めあて】友だちとなかよくするために、大切なことは何でしょう。</p> </div>		

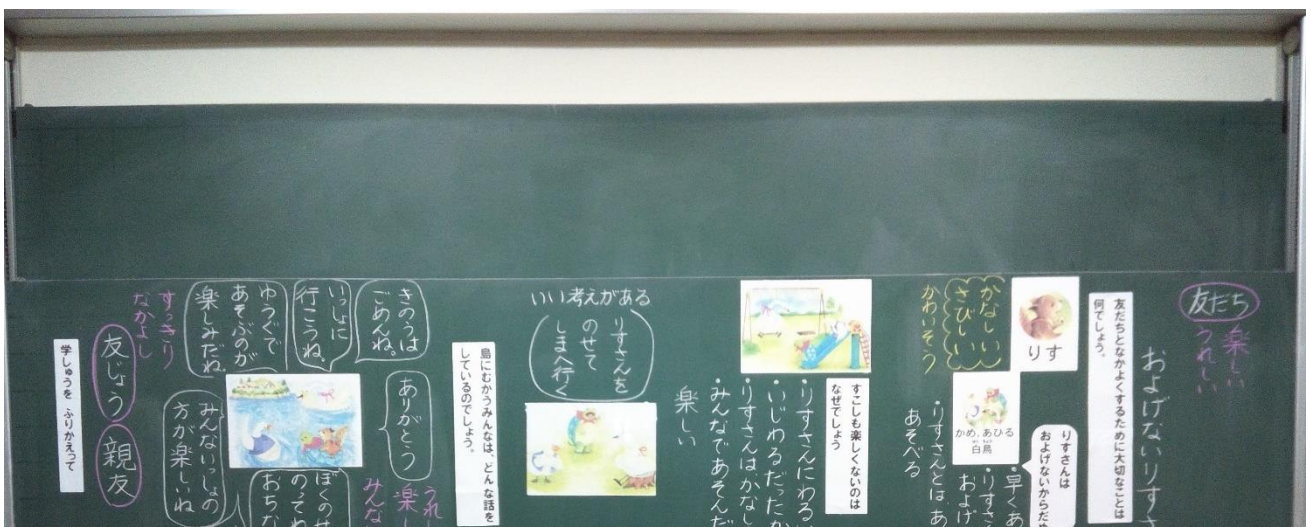
<p>2 資料「およげないりすさん」の範読を聞き、動物たちの気持ちについて考える。 (1) 劇を行い、3匹がどのような気持ちから「だめ」と言ったのか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>劇を見て、みんなは、どんなことを感じましたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・りすさんかわいそう ・りすさんさびしそう ・かめさんたちひどい ・なかまはずれみたい <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>なぜ、「だめ」と言ったのでしょうか。りすさんは、どう感じましたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・はやく島へ行って遊びたい。 ・りすさんは泳げないから仕方ない。 ・りすさんとは、また後で遊べる。 ・りすさんがいると島に行けない。 <p>(2) 島で遊んでいるときの3匹の気持ちを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>島で遊んでいても少しも楽しくないのはなぜでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・りすさんに悪いことしちゃった。 ・自分たちは意地悪だったかな。 ・りすさんは、悲しい気持ちでいるのかな。 ・みんなで遊んだ方が楽しいな。 ・やっぱり、りすさんも島に誘おう。 ・みんなで協力すれば、りすさんを連れて来られる。 	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●資料の内容を把握しやすいように、場面絵を提示する。 ○かめ達とりすのセリフを真似て劇化し、内容の理解を図る。 ○見ていた児童に感想を聞き、演じた児童にはそれぞれの立場から気持ちを発表させる。 ○自分の気持ちが先行し、りすのことを考えていないことに気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・意地悪で言ったわけではなくても、知らず知らずのうちに相手を傷つけている場合があることに目を向けさせる。 ・断られた、りすの気持ちも考えさせる。 ○楽しいはずの島で遊んでいても楽しくないのはなぜか、動物たちの表情などからも気持ちを考え、発表させるようにする ○思いやりの心や、断ってしまったことへの後ろめたさなど、多様な価値を考えながら、仲良くしようとするよさに気付かせるようにする。 ○どの考えも、りすのことを視野に入れた考えで、「友情,信頼」の基盤となっていることを補足する。
<p>(3) 島にむかうみんなの気持ちを考える。少人数のグループに分かれて役割演技を行う (即興)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>島に向かうみんなは、どんな話をしているのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・きのうは、ごめんね。 ・やっぱり、みんな一緒の方が楽しいね。 ・りすさんがよるこんでくれてうれしいな。 ・かめさん背中のにせてくれてありがとう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>役割演技をしてみて、それぞれどんな気持ちでしたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしいきもち ・楽しい気持ち ・気持ちがすっきり ・明るい気持ち <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>見ている人は、どんなことを感じましたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・かめさんたちが、あやまってよかった。 ・りすさんも一緒によかった。 ・みんなうれしそうだった。 ・なかよしでいいなと思った。 	<p>20</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○次の日の、白鳥たちのセリフから演技をさせるようにする。その際、役割演技のイメージを持たせるために、1グループに例を示させる。 ○数グループをとりあげ、全体の場で発表させる。なぜ、そのようなセリフを言ったのか問い返すようにする。 ○役割演技をした児童や感想を発表した児童を、受容・賞賛し、意見交流がしやすいような温かい雰囲気づくりを心がける。 ○動物たちの表情にも着目させ、どのような気持ちでセリフを言ったのか考えさせるようにする。かめ達とりすのどちらも喜んでいることから、ねらいとする価値の理解を深めさせる。

	<p>○かめ達の気持ちに共感することを通して、みんなで一緒に行くことのよさや助け合うことの大切さについて実感できるようにさせる。</p> <p>○役割演技を通して、友達を思いやる気持ちや、仲よく助け合う気持ちに目を向けさせる【技能】</p> <p>○数グループの役割演技を見せ、それぞれの気持ちを聞かせることで、仲よくするといろいろな楽しさがあることを多面的・多角的に考えさせる。【感性】</p> <p>○動物たちの会話や気持ちを振り返らせ、「友達っていいな」と感じたり、「友情」とはどういうことかに気付いたりできるようにする。また、国語『お手紙』の登場人物についても触れ、文中では『親友』という言葉を使っていたことも思い出させる。</p>
<p>3「友達と仲よくする（助け合う）こと」について、振り返りをする。</p> <p>今日の学習の振り返りをしましょう。</p> <p>これまでの自分を振り返り、これからどのような気持ちを大切にして生活していくのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからは、相手の気持ちを考えて仲よく遊びたい。 ・悲しい思いをする人がいないように気をつけていきたい。 	<p>10</p> <p>○これまでの自分の行動について、振り返らせる。心のものさし（5段階）のどの段階にあたるか、○印を付けさせ、今まで、友達の気持ちを考えながら行動できていたかどうか、文章でも書くようにさせる。</p> <p>○これから友達とどのように過ごしていきたいか、今後の自分の行動について、ワークシートに記入させる。</p> <p>◇友達と、よりよい人間関係を築くために大切なことは何か気付いている。（ワークシート）</p>

(4) 評価の観点

- 役割演技をしたり、見たりして、自分なりに友達と仲よく助け合うことのよさについて多面的・多角的に考えている。
- 友達と仲よく助け合うことのよさについて、自分の生活を見つめ、自分との関わりの中で振り返りながら考えている。

5 板書計画



ワークシート



○誰にもわかってみんなが、どんな話をしているのか考えよう。

（めあて）
友だちとながくよくするために大切なことは何でしょう。

およげない リすさん

■これまでのじぶんは、どこかな？

☹️ | | | ☺️

■今日の学しゆうを、ふりかえって
これまでの自分は、

これから、

名前 ()